

県総体・ものづくりコンテスト壮行会

5月15日、県高校総体、及びものづくりコンテストの壮行会を行い、選手たちへの激励と、チーム鶴工が全員で戦い抜くことを誓いました。特に、3年生は最後の試合になる可能性がある本大会であり、選手たちの並々ならぬ思いが伝わってきます。日々の練習にも力が入ってきており、この熱い思いと鍛錬の成果を発揮し、一人でも多くの選手やチームが上位大会へ進むことを願っています。私からは、選手だけではなくチーム鶴工全員で大会に臨むことの大切さ、そしてチームワークを乱すことがないよう、一人ひとりに責任のある行動を求めました。大会まで自己管理に努め、万全の心と体で臨んでくれることを願っています。



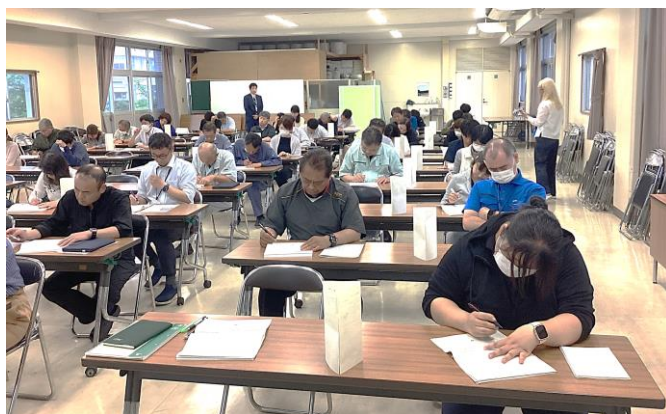
サッカー部、チーム鶴工を好リード！

5月18日、サッカー部が県高校総体の先陣を切り、チーム鶴工をリードしてくれました。初戦となる大分西との2回戦は、手に汗握る接戦となりましたが、全員で勝利を掴み取りました。試合終了間際で同点に追いつき、PK戦ではGK児玉選手のスーパーセーブにより、勝利を手繰り寄せました。最後まで諦めない鶴工魂にあっパれです。この試合、選手の頑張りとは勿論ですが、控え選手全員による必至の応援が、サッカー部を一つにし、選手たちを勇気付けてくれました。素晴らしい自慢の応援団です。



ものづくりコンテストへ"モノジョ"始動

ものづくりコンテスト(6月12～13日)に出場する選手たちの練習に熱が入ってきました。今年も鶴工のモノづくり女子(モノジョ)に期待が高まります。化学分析部門には、小山優奈さん、佐藤吏緒さん(3C)、家具・工芸部門には、池本那奈さん、中村美月さん(3D)が出場します。化学分析部門は、去年はそれぞれ2位と3位で悔しい結果でした。今年も優勝争いを期待しています。練習の動きにも無駄がなく、フラスコやピペットを扱う目つきも真剣そのものです。家具・工芸部門は2人とも初めてのチャレンジですが、昨年の課題を題材にして、工具の使い方を繰り返し確認していました。両部門ともに、本番は2～3時間の長丁場で、集中して課題に取り組まねばなりません。心技体を整え、最高のパフォーマンスを発揮して欲しいと願います。



探究マインドを深める

5月21日、大分大学の竹中教授をお招きし、教職員向けワークショップ型研修会を行いました。今年度立ち上げた探究プロジェクトの一環で、探求的な学びについて教職員自らが体験し、理解を深める取り組みです。生徒達が向かう変化の激しい答えのない世の中で、自ら考え、判断し、行動できる力を養うことは重要です。日頃から自主的に考え、課題を見つける癖をつけるには、繰り返し経験することが大切だと再認識しました。